

モルテン製電動介護用ベッドをお使いの皆さまへ

停電時の対応に関するお知らせ



＜停電時に電動介護用ベッドが受ける影響＞

電動介護用ベッドは、停電などで電力供給が止まった状態では、ベッドの背上げや高さ調整などの動作を行うことができなくなります。

その結果、ベッド上で長時間同じ姿勢を保つことになり、利用者様にとって苦痛で危険な状態となる恐れがあります。

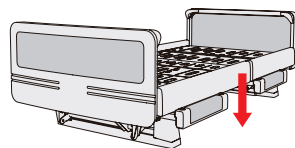
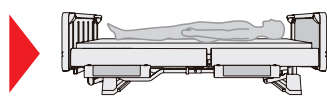
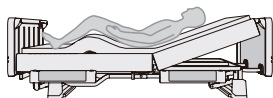
計画停電が予定されている場合や急な停電が発生した場合には、以下のご対応をお願い致します。

計画停電時の対応

計画停電の場合、停電の対象となる地域や時間は事前に電力会社から案内されます。
計画停電が予定されている時間の前には、ベッドを下記の状態にしてください。

①【背上げ】【ひざ上げ】をリモコンの「さがる」ボタンを押して、水平な状態に戻してください。

②【高さ】をリモコンの「さがる」ボタンを押して、一番低い状態にしてください。



※設定後は、停電復旧時にベッドが誤動作しないよう、電源コードは抜いてください。

急な停電時の対応

急な停電が発生した場合や計画停電への対応が遅れた場合など、電力供給が停止するとベッドの操作ができなくなります。このような場合には、下記の対応をしてください。

①利用者様と寝具を水平な場所に移動させてください。

②ベッドを水平な状態にする場合は、電動介護用ベッド付属の取扱説明書に記載の「緊急時の背下げ方法」に沿って行ってください。

＜作業を行う際の注意点＞

- ・必ず電源コードを抜いて行ってください。
- ・必ず2人で行ってください。
- ・工具（ラジオペンチ・プライヤーなど）が必要となります。
- ・停電が復旧した場合に誤動作しないように、電源コードは抜いたままにしてください。

停電復旧後の対応

①停電から復旧した後、電源コードを差し込みます。

②ベッドを分解して水平な状態にした場合は、取扱説明書に記載の「背上げのもどしかた」に沿って背上げを元の状態に戻してください。

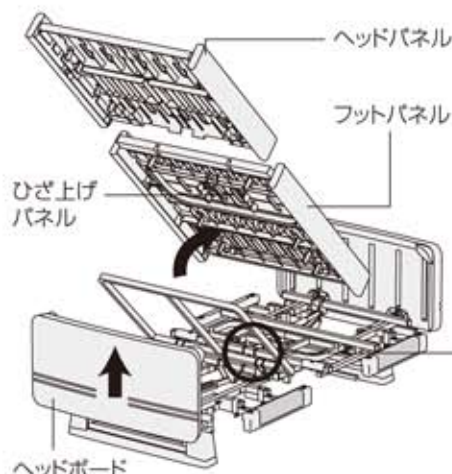
※組み立て後は、取扱説明書にある「点検項目」に沿って点検を行ってからご使用ください。

電動介護用ベッドの取扱説明書は弊社ホームページからもダウンロードできます。

停電時や故障などで背下げできないときは、以下の方法で背下げしてください。

※ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。工具は付属していません。

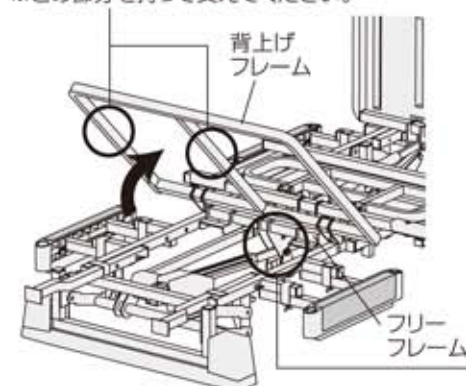
※この作業は必ず2名以上で行ってください。作業する場合は、電源プラグを必ず抜いてください。



ご本人と寝具・マットレスをベッドから移動させてください。
ヘッドボード、ヘッドパネル、フットパネル、ひざ上げパネルを取り外してください。ひざ上げリンクロッドとフリーフレームを接続しているななめ割りピンを外してください。

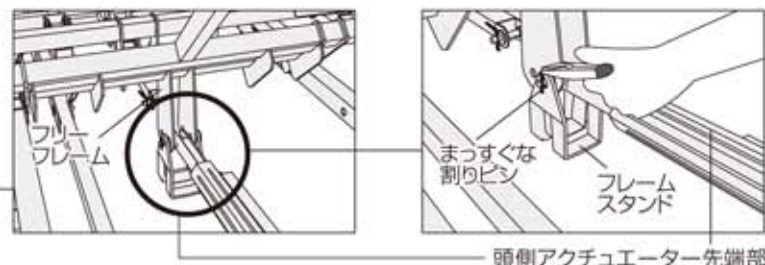


※この部分を持って支えてください。



1人の方が背上げフレームを手で持ち上げ、支えてください。
もう1人の方が頭側アクチュエーター(角度調整)先端部とフリーフレーム・フレームスタンドを固定しているまっすぐな割りピンをラジオペンチなどで外してください。

※この作業には、ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。



頭側アクチュエーター(角度調整)を手で持ちながらピンを外してください。
ピンを外すと、フリーフレーム・フレームスタンドとひざ上げフレームが自由に動くようになります。
※背上げフレームの角度によっては、ピンを外すと上記部分が回転してきますので、フリーフレームはしっかりと支えてください。

注意

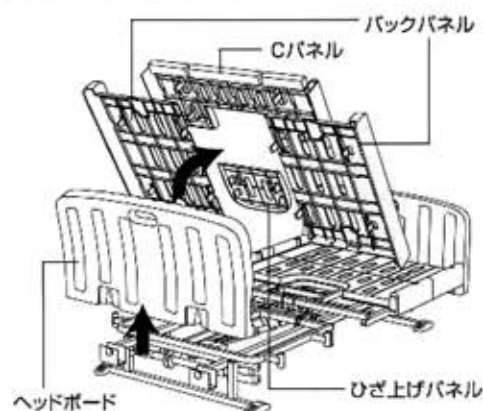
- 抜いたピンとまっすぐな割りピンは紛失防止のため、フレームスタンドに取り付けてください。

背上げフレームをゆっくりと降ろしてください。
ヘッドボード、ヘッドパネル、フットパネル、ひざ上げパネルを元のように取り付けてください。

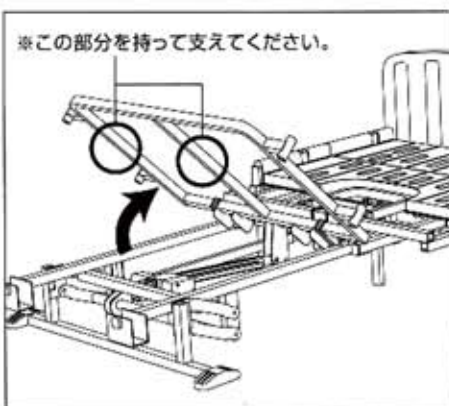
停電時や故障などで背下げできないときは以下の方法で背下げしてください。

ラジオペンチ、
プライヤーなどが
必要です。

※この作業は必ず2名以上で行ってください。作業する際は、電源コードを必ず抜いてください。

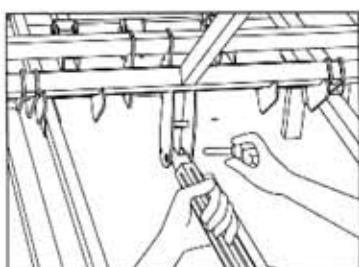


ご使用されている方と寝具・マットレスをベッドから移動させてください。ベッドの高さを一番下まで下げてください。
ヘッドボード、バックパネル、Cパネル、ひざ上げパネルを取り外してください。ひざ上げリンクロッドとフリーフレームを外してください。

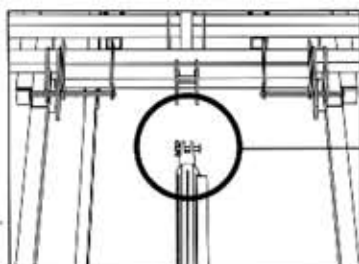


1人の方がヘッドフレームの背上げ部分とフリーフレームを手で持ち上げ支えてください。

もう1人の方がアクチュエーター先端部とフリーフレームを固定している割りピンをプライヤーなどで外してください。



アクチュエーターを手で持ちながらピンを外してください。ピンを外すとフリーフレームとひざ上げフレームが自由に動くようになります。
※背上げの角度によってはピンを外すと上記部分が回転してきますのでフリーフレームはしっかりと支えてください。



注意！：抜いたピンと割りピンは紛失防止のため、
アクチュエーター先端に取り付けてください。

フリーフレームからゆっくり手を離し、ヘッドフレームを降ろしてください。

ヘッドボード、バックパネル、Cパネル、を取り付けてください。